

あおぞら



NPO 法人 あいかわ工房
 広報 VOL.52 2020.10.1
 編集 あいかわ工房編集委員会
 発行責任者 熊谷直丈
 ホームページ あいかわ工房 [検索](#)
 TEL 046-281-1157



紅葉の黒四ダム

10年余り前にデジカメ倶楽部の撮影会で行きました。長野県側の扇沢からトローバス(現在は電気バス)で全区間トンネルを抜けダムサイトへ出ます。ロープウェイから展望台へ昇る途中の景観です。素晴らしい紅葉でした。ケーブルカーとロープウェイを乗り継いで、立山の室堂に着き、みくりが池 周辺の散策と撮影をして一泊。翌日は扇沢からチャーターしたバスで白馬へ行き更に一泊、紅葉三昧の撮影会でした。

黒四ダムの工事はトローバスの行程途中に大きな破砕帯があり、物凄い量の地下水が噴出して難工事になりました。この時の事を石原裕次郎が映画化した『黒部の太陽』に描かれています。

昭和31年に着工して多くの殉職者と7年の歳月を掛けて完成した、アーチ式ダムでは堤高・堤頂長・堤体積一位のダムで、この完成により関西電力が今までの電力不足を解消する大発電量を確保しました。

新型コロナの感染が早く出たので、今年も紅葉を見に行きます。



8月7日午後からの みんなの時間

今回は久しぶりに音楽講座を企画しました

みらいのあいのいえ 設立準備室 で行っている出前レクリエーション講座のカホン(南米ペルーの打楽器)の演奏を習いました。

講師に松尾弥生先生が歯切れよく、分かり易い表現で教えて下さいました。

利用者の皆さんは一生懸命、でも楽しそうに叩いていました。

コロナウイルスの感染が怖い時でしたが、全員マスクを着用して開口部は網戸にして実施しました。

南米(ペルー)を1500年頃スペインが征服し原住民の多くが死んでしまった後、労働力としてアフリカから黒人奴隷が連れてこられた。黒人奴隷は反乱の恐れからコミュニケーションに使われていた楽器(太鼓類)の演奏を禁じられていた。その為黒人奴隷が手近にあった木の箱(スペイン語でCajón)を叩き始めたのがカホン(箱)の発祥とされている。ネットより



ネットより 講師 松尾弥生さん

8/7 カホン せんそう会

♡まっおやい先生

午後1時～ あいさつ 全体の音がけし、目に慣れ、カホンのせっけい、コンパは感んじられ

午後1時10分～ 1班 せんそう リズムを覚え、足踏を一つひとつ、ひらき

午後1時45分～ きゅうけい

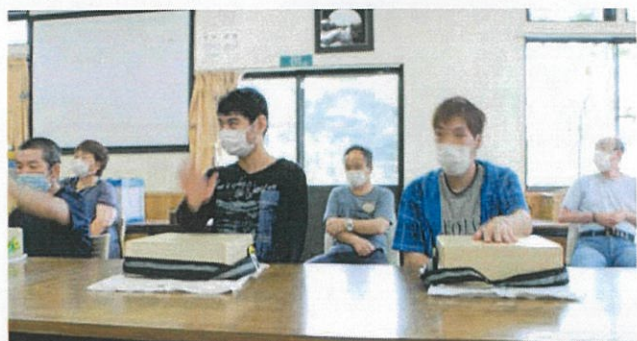
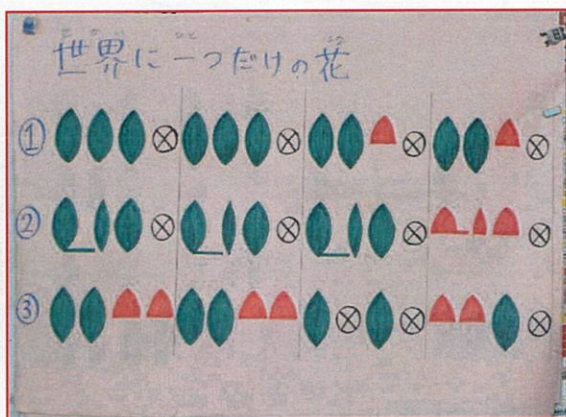
午後1時55分～ 2班 せんそう

午後2時30分～ かんそう

午後2時45分 終了・かたづけ

w みらいあいわ

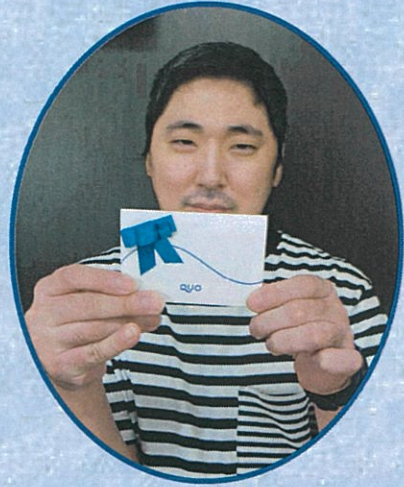




HAPPY BIRTHDAY



7月生まれ



8月生まれ



9月生まれ

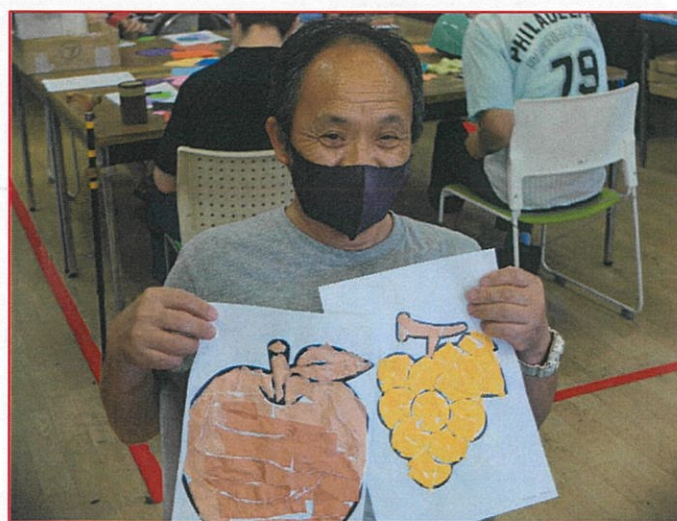
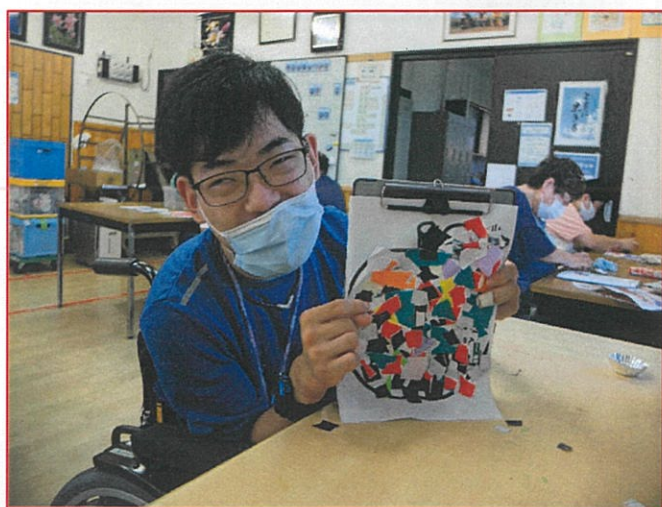
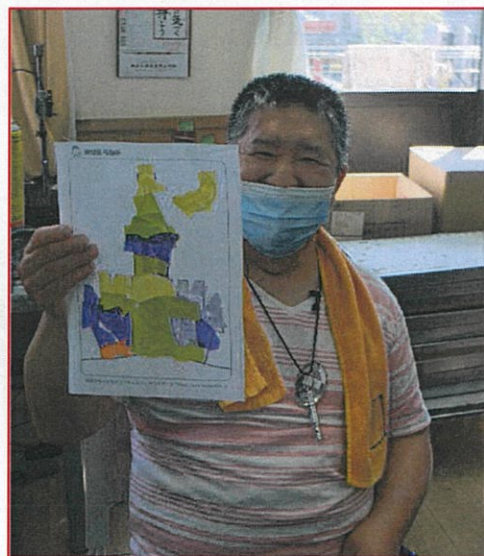


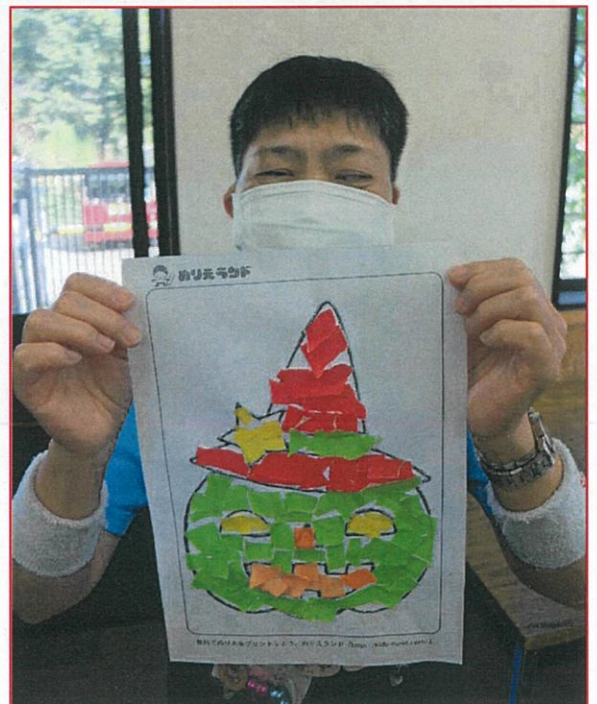
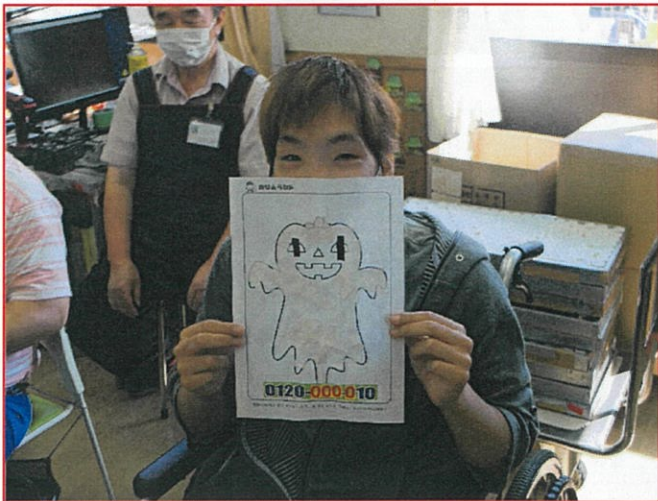
9月生まれ



9月生まれ

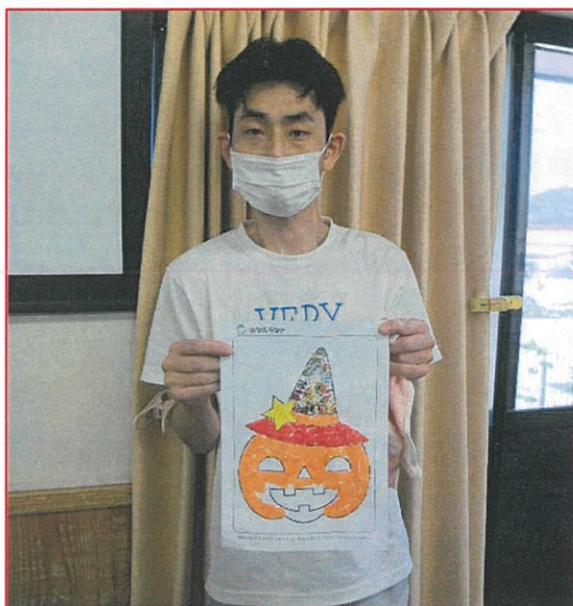
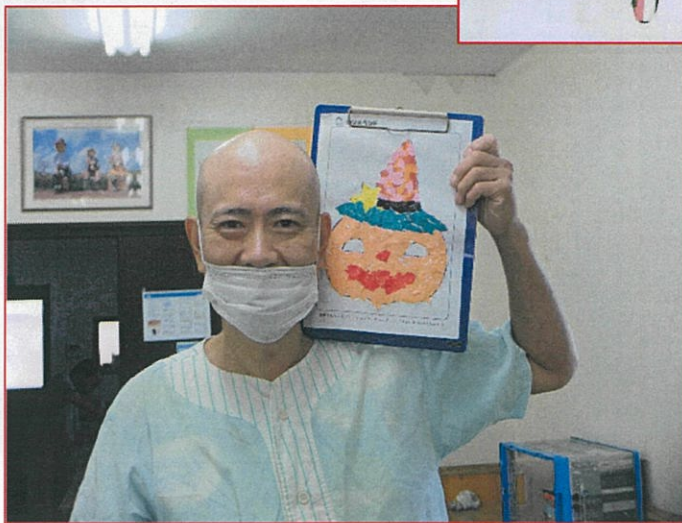
9月4日のみんなの時間では、ちぎり絵に挑戦しました 下絵を選んで色紙やチラシをちぎって貼り付けます
それぞれに個性が出て時間の経つのを忘れてしまいました







チラシを上手くつかい
ましたね!!
コロナウイルスが逃げ
ますように!!



7月7日(火)看護師の柏木さんに来て貰い健康講座と、普段職員が対応して気になっていることを情報として提供して全員に面接、血圧・体重測定と、皆さんが気になっていることの質問、持病の経過の聞き取りをして貰い、適切なアドバイスをして頂きました

また、看護師から見た利用者情報をフィードバックして貰い、職員間での共有して日常活動に活かしています

4月初めに引き続き、8月3日(月)に送迎車・トラック・軽自動車と職員の通勤用車両合計14台にクレベリンの蒸散をしました

8月25日(火)事務室・相談室に室内用クレベリン発生器を購入設置しました

8月26日(水)赤外線体温計がやっと入荷して送迎車に1台ずつ配置して迎え時の測定が楽になりました

新型コロナウイルス感染症の影響により、一般企業からの受注量が減少した町内の就労継続支援B型事業所へ、利用者の工賃維持のための補助金として、10万円が補助されました

基準は令和2年3月～5月の受注量が前年同期比で減少している就労継続支援B型事業所であいかわ工房は5月の受注量が落ち込み、この基準に該当するため、補助を申請しました、9月10日に入金しました

有難うございました工賃に補填致します

6月7月は企業様からの受注は回復していますが、企業様によっては8月9月には通常月の半分以下の受注になっており、先行きが心配です

県からマスク・ビニール手袋等の支給がありました

県では『新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業交付金』制度を実施して、感染症対策に要する物品購入、感染発生時対応・衛生用品保管などに使える簡易居室設置経費の支給感染防止のための環境整備に要する経費の支給が行われます

令和2年1月15日～6月30日までの間、利用者に接して業務を行った職員に慰労金の支給が行われます

それぞれ細目があり、該当項目を支給申請しています

3密を避けよう
手洗い・うがいをしよう
マスクをしよう
窓を開けて空気の入替え



コロナ禍での防災対策

今まであいかわ工房では災害時に避難はせず、事業所内で安全を確保するという対策をたて、設備などをいろいろと揃えてきました。しかし新しい生活様式が発表され、コロナウイルスへの感染を防ぎながらの対応は難しいと考えています。毎日20名前後の利用者様が通所して下さっているので、いざ『立てこもる』となると3密は防げません。未然に対策が取れる台風や積雪に対しては、新しい情報を素早くキャッチして、早め早めの対応をして参りますので、空振りになる事もあるかと存じますが、被害と感染を防ぐためにも、ご理解とご協力をお願い致します。

編集後記

今年度の理事会は全て、書面決議となつていますが、上半期のご報告と今後の見通しを今回は対面で行いたいと思います。
色々の会議も省略したり、リモートでの打ち合わせなどで、やれば出来る事が判って来ました。
しかし、私たちの仕事はご利用者さんとの対面でなければ成り立ちません。相互の信頼関係と守るべき最低限のマナーを崩さずに、これからの緊張感を維持しながら業務に励みます。一同